

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立久保中学校	校長	米本 紀子	生徒指導主事	富田 竹則
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『生徒会主体の活動』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「挨拶」	3	「主体性・積極性」	2	「自己肯定感の向上」	1

取組のねらい『キーワード自己肯定感』

自己肯定感の向上をめざして「咲かせよう個性の蕾」を生徒会スローガンとして、授業・部活動・掃除・服装に重点を置き取組を行なっていく。それらの活動を通じて、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し協力して諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てる。

取組の具体的内容『キーワード承認活動』

- 「一週間遅刻ゼロ忘れ物ゼロ」
- 「先生に挨拶」
- 1日30回挨拶表彰
- アルミ缶回収のクラス表彰と個人表彰等

生徒会執行部が今取り組むべき内容を考え、取り組んだその日の結果を放送やHRで伝達し動機付けを行なった。生徒朝会等で結果を報告し表彰する。



一週間遅刻ゼロ忘れ物ゼロ



先生に挨拶



挨拶表彰



アルミ缶回収表彰

取組の課題・創意工夫『キーワードいじめ撲滅宣言』

お互いを認めあうという視点から承認活動だけでなくいじめに對しての取組を行なった。いじめ防止に関わる道徳を行い、その感想文を書きそれぞれのクラスの代表がいじめは許さないという思いを全校の場で発表した。また、生徒会長が久保中学校いじめ撲滅宣言を行い、全校に周知や意識付けを行なった。さらにいじめ撲滅宣言をうけての決意を記入しそれを各クラス、廊下に掲示した。

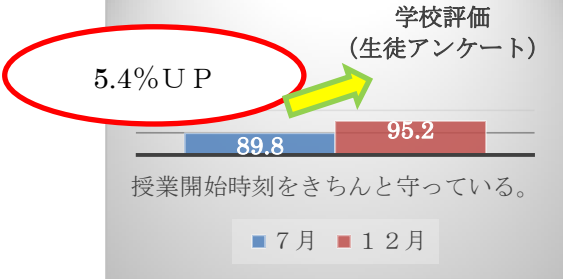


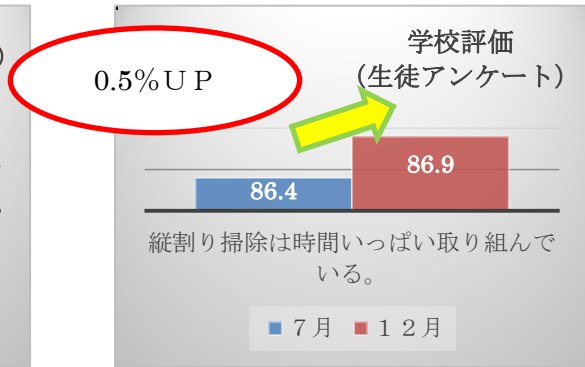
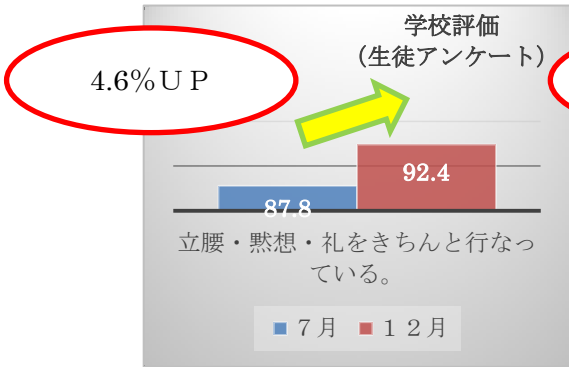
いじめ撲滅宣言

取組の成果（効果）『キーワード授業規律』

生徒会主体の活動を通じて学校評価から「授業開始時刻をきちんと守っている」はH30.7月と12月との比較で5.4%の向上、「立腰・黙想・礼をきちんと行っている」4.6%の向上、「縦割り掃除は時間いっぱいに取り組んでいる」0.5%の向上が見られた。

学校評価(生徒アンケート)	7月	12月
授業開始時刻をきちんと守っている。	89.8	95.2
立腰・黙想・礼をきちんと行っている。	87.8	92.4
縦割り掃除は時間いっぱい取り組んでいる。	86.4	86.9





自己肯定感に伸びは見えなかったが、集会で集まった時に、誰かが発表した後自然に拍手が起こる等、他者の頑張りを認めようとする場面は増えてきた。

今後の展開『キーワード生徒会主体』

生徒会の取組結果として、時間の意識や授業準備、休憩時間から授業への切り替え等授業規律は向上した。今後学級からも生徒の意見を求め、生徒同士が結びつきを深め活躍できる場や機会をつくり、さまざまな視点から評価し承認していくよう取り組む。

他教科との関わり『キーワード褒めること』

学校生活の中で生徒一人ひとりのよい点や可能性を見つけ、生徒に伝えるなど積極的に評価し、自己肯定感や自信につなげていく。